

10

関係代名詞〈主格/所有格〉

表現マスター

1	I know a woman who can speak French.	私はフランス語を話せる女性を知っています。
2	This is a bus which goes to the park.	これは公園へ行くバスです。
3	I know a woman that can speak French. This is a bus that goes to the park.	私はフランス語を話せる女性を知っています。 これは公園へ行くバスです。
4	These are buses which go to the park.	これらは公園へ行くバスです。
5	I know a boy whose mother is a doctor. I have a cat whose eyes are blue.	私は母親が医者である少年を知っています。 私は目が青いネコを飼っています。

- 1 文中にある **who, which, that, whose** など、「名詞」と「その名詞をよりくわしく説明する節」を結び付ける役割をする語を**関係代名詞**という。名詞をよりくわしくする働きは「形容詞」も同様だが、形容詞の場合は名詞の前に置き、関係代名詞は名詞の後ろに置くという違いがある。

ポイント

[形容詞] a pretty girl

[関係代名詞] a girl who lives here

関係代名詞が導く節に修飾される名詞(上の例の場合は"girl")のことを**先行詞**という。

Check

関係代名詞には3つの格がある。

〈主格〉

すぐ後に動詞がくるもの。

[例] I know a girl who lives here.

私はここに住んでいる女の子を知っている。

〈所有格〉

すぐ後に名詞がくるもの。

[例] I have a cat whose eyes are blue.

私は青い目のネコを飼っている。

〈目的格〉※くわしくは次の単元を参照。

すぐ後ろに「主語+動詞」がくるもの。

[例] He is the man who [whom] I met yesterday.

彼は私が昨日会った男です。

- 2 主格の**関係代名詞**については、先行詞が人の場合は **who**、人以外の場合は **which** を使う。

ポイント

[人] I know a man who lives here.

[人以外] This is a bus which goes there.

Check

主格の関係代名詞は、「接続詞＋代名詞」の働きをしていると考えることができる。

- ① I know a boy.
 ② He lives here.
 ①＋② I know a boy who lives here.

3 関係代名詞 **that** は、先行詞が「人」と「人以外」の両方の場合に使える。

ポイント

{ I know a woman **who** can speak French.
 { I know a woman **that** can speak French.

{ This is a bus **which** goes to the park.
 { This is a bus **that** goes to the park.

Check

先行詞が「人＋物(動物)」の場合は、関係代名詞は **that** を使う。

- [例] Look at **the child and the dog that** are playing in the park.
 公園で遊んでいる子どもと犬を見てごらん。

4 主格の関係代名詞が導く節の動詞は、先行詞の人称と数に応じて変化する。

ポイント

- [単数] I know a man **who lives** here.
 [複数] I know **men who live** here.

5 所有格の関係代名詞については、先行詞が人の場合も、人以外の場合も **whose** を使う。

ポイント

- [人] I know a boy **whose bike** is red.
 [人以外] I have a cat **whose eyes** are blue.

文全体の時制が過去の場合は、関係代名詞が導く節の動詞も過去形になる。

- [例] I know a boy **who lives** there.
 I **knew** a boy **who lived** there.
 私はそこに住んでいる少年を知っていた。
 ※訳し方に注意。